

## 「おいしが うれしが」キャンペーンおよび環境こだわり農産物についての アンケート結果

県では、地産地消や県産農畜水産物等の消費拡大を推進する「おいしが うれしが」キャンペーンや、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を実践する「環境こだわり農業」の推進に取り組んでいます。

これらの制度をより良いものとするため、施策に対する県民の皆様の認知度や関心、意見等を頂戴するためにアンケート調査を実施しました。

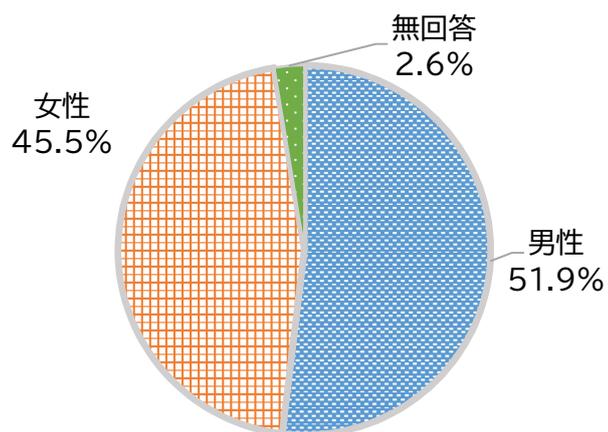
- ★調査時期：令和4年12月
- ★対象者：県政モニター296人
- ★回答数：233人(回収率78.7%)
- ★担当課：農政水産部 미래の農業振興課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

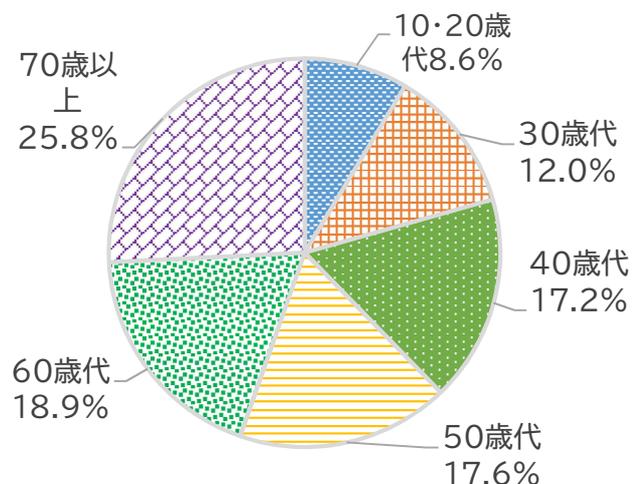
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	121	51.9
女性	106	45.5
無回答	6	2.6
合計	233	100.0



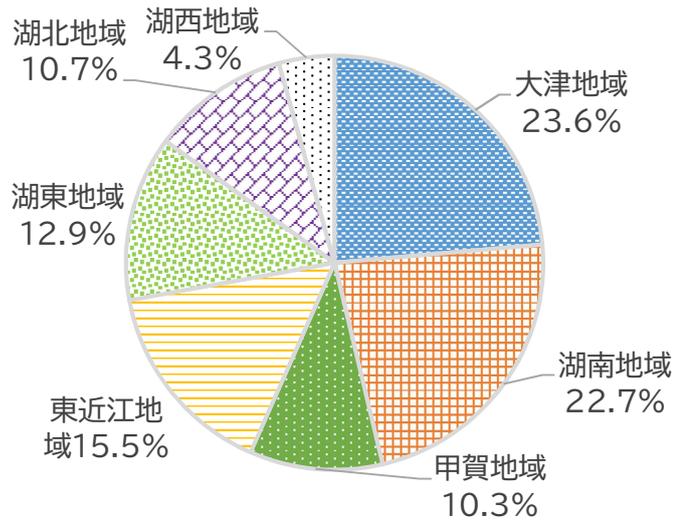
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	20	8.6
30歳代	28	12.0
40歳代	40	17.2
50歳代	41	17.6
60歳代	44	18.9
70歳以上	60	25.8
合計	233	100.0



◆地域

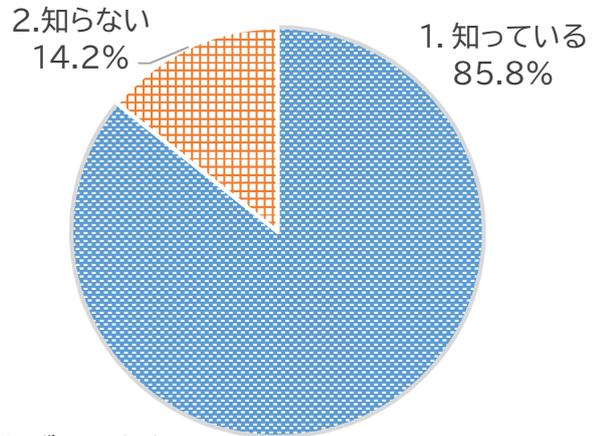
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	55	23.6
湖南地域	53	22.7
甲賀地域	24	10.3
東近江地域	36	15.5
湖東地域	30	12.9
湖北地域	25	10.7
湖西地域	10	4.3
合計	233	100.0



問 1. あなたは、「おいしが うれしが」キャンペーンを知っていますか。

(回答チェックは1つだけ n=233)

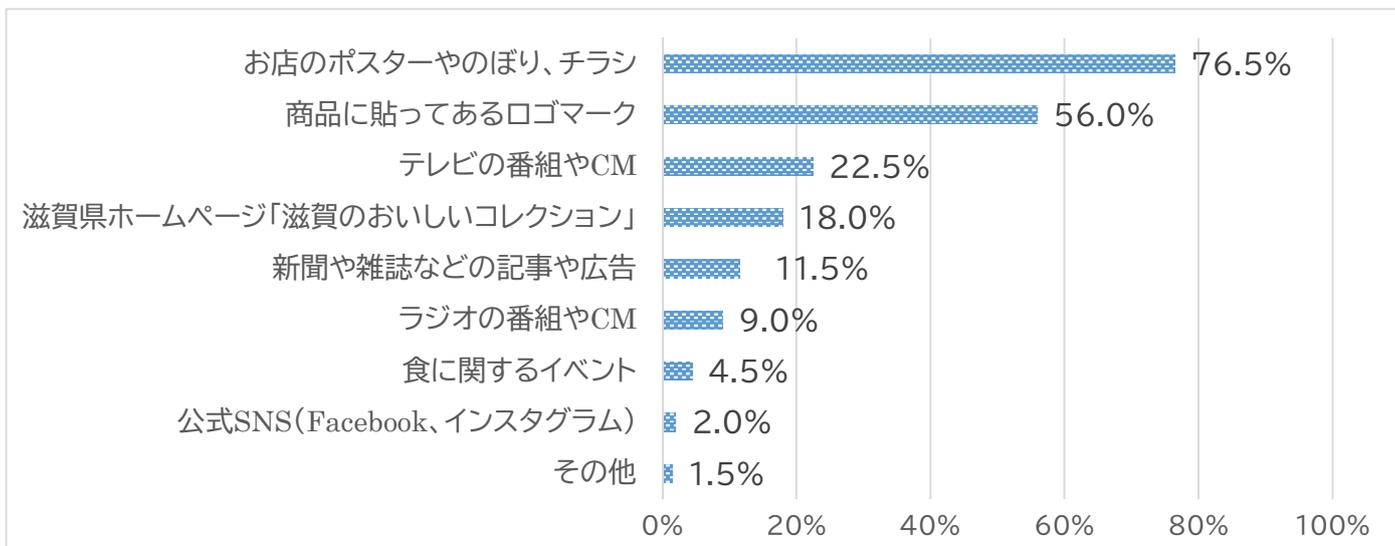
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	200	85.8
2. 知らない	33	14.2
合計	233	100.0



問 2. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

「おいしが うれしが」キャンペーンをどこで知りましたか。(回答チェックは3つまで n=200)

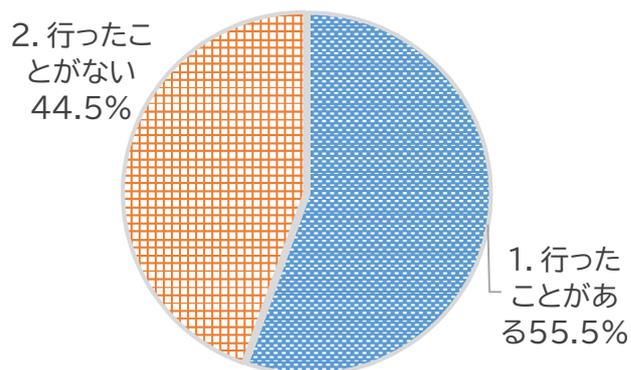
項目	人数(人)	割合(%)
お店のポスターやのぼり、チラシ	153	76.5
商品に貼ってあるロゴマーク	112	56.0
テレビの番組やCM	45	22.5
滋賀県ホームページ「滋賀のおいしいコレクション」	36	18.0
新聞や雑誌などの記事や広告	23	11.5
ラジオの番組やCM	18	9.0
食に関するイベント	9	4.5
公式 SNS(Facebook、インスタグラム)	4	2.0
その他	3	1.5



問 3. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

あなたは「おいしが うれしが」キャンペーンののぼりがある飲食店や小売店等を、キャンペーン推進店と認識して行ったことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=200)

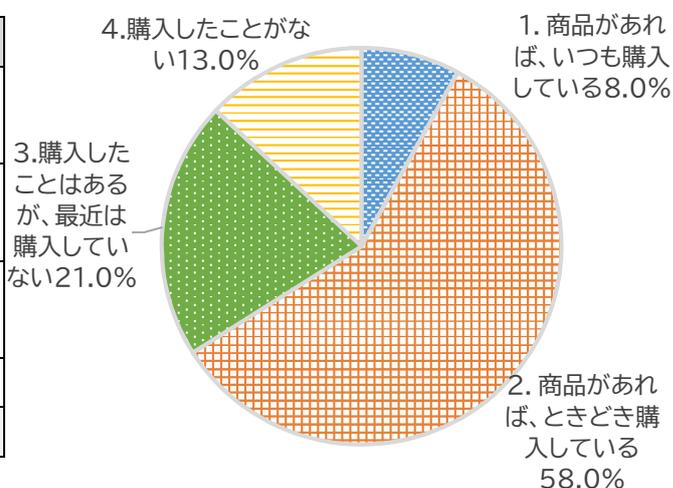
項目	人数(人)	割合(%)
1. 行ったことがある	111	55.5
2. 行ったことがない	89	44.5
合計	200	100.0



問 4. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

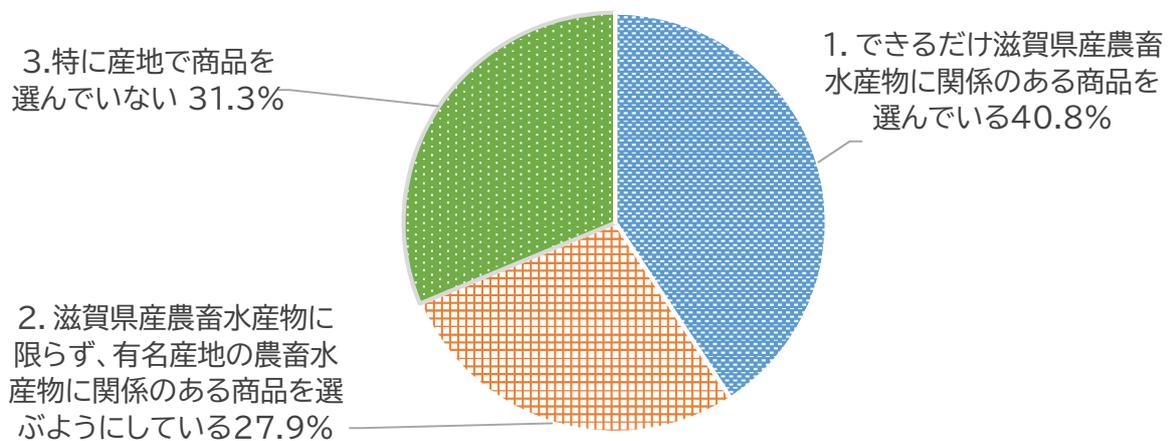
あなたは「おいしが うれしが」キャンペーンのロゴマークが入った商品を購入したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=200)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	16	8.0
2. 商品があれば、ときどき購入している	116	58.0
3. 購入したことはあるが、最近購入していない	42	21.0
4. 購入したことがない	26	13.0
合計	200	100.0



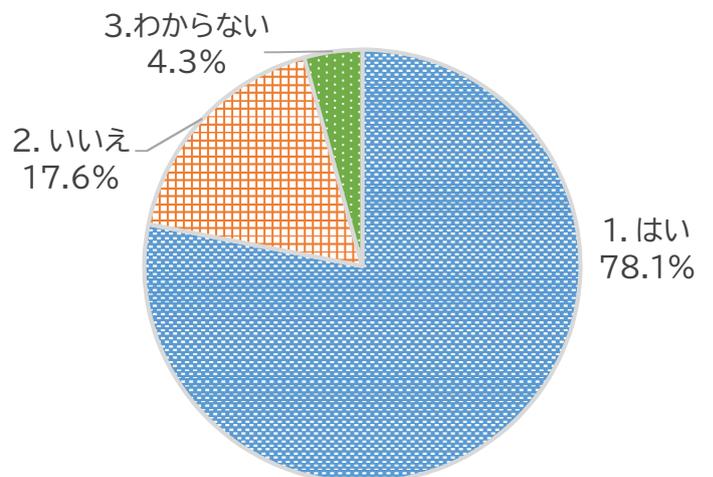
問5. 滋賀県産の農畜水産物やそれを使った料理や商品を、意識的に選んで食べたり、購入されたりしていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. できるだけ滋賀県産農畜水産物に関係のある商品を選んでいる	95	40.8
2. 滋賀県産農畜水産物に限らず、有名産地の農畜水産物に関係のある商品を選ぶようにしている	65	27.9
3. 特に産地で商品を選んでいる	73	31.3
4. その他	0	0.0
合計	233	100.0



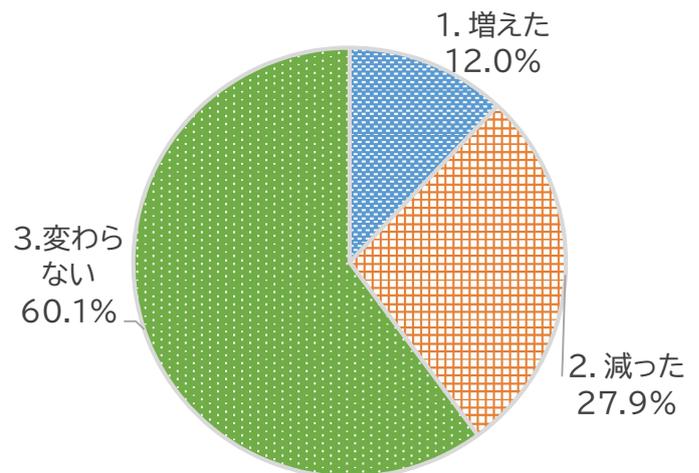
問 6. あなたが普段食べるお米は、近江米(滋賀県産のお米)ですか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	182	78.1
2. いいえ	41	17.6
3. わからない	10	4.3
合計	233	100.0



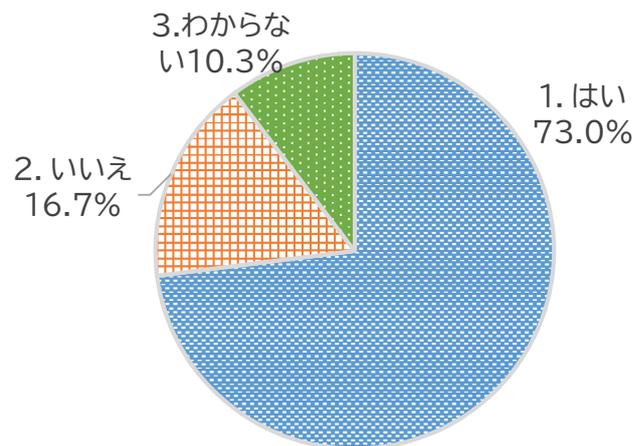
問7. 最近5年間であなたのお米を食べる量は変化しましたか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 増えた	28	12.0
2. 減った	65	27.9
3. 変わらない	140	60.1
合計	233	100.0



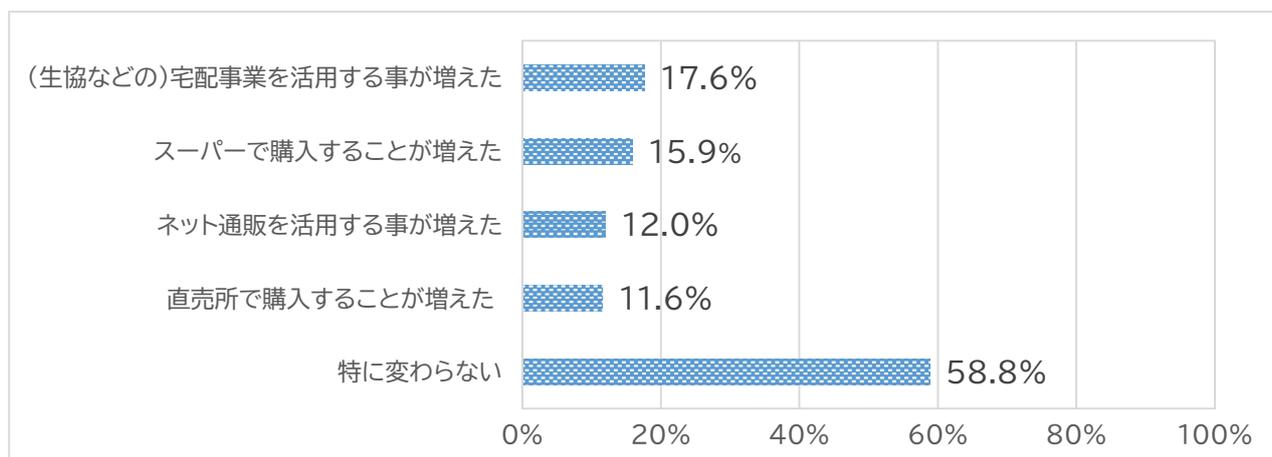
問8. あなたは、米粉を使った食品を食べたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	170	73.0
2. いいえ	39	16.7
3. わからない	24	10.3
合計	233	100.0



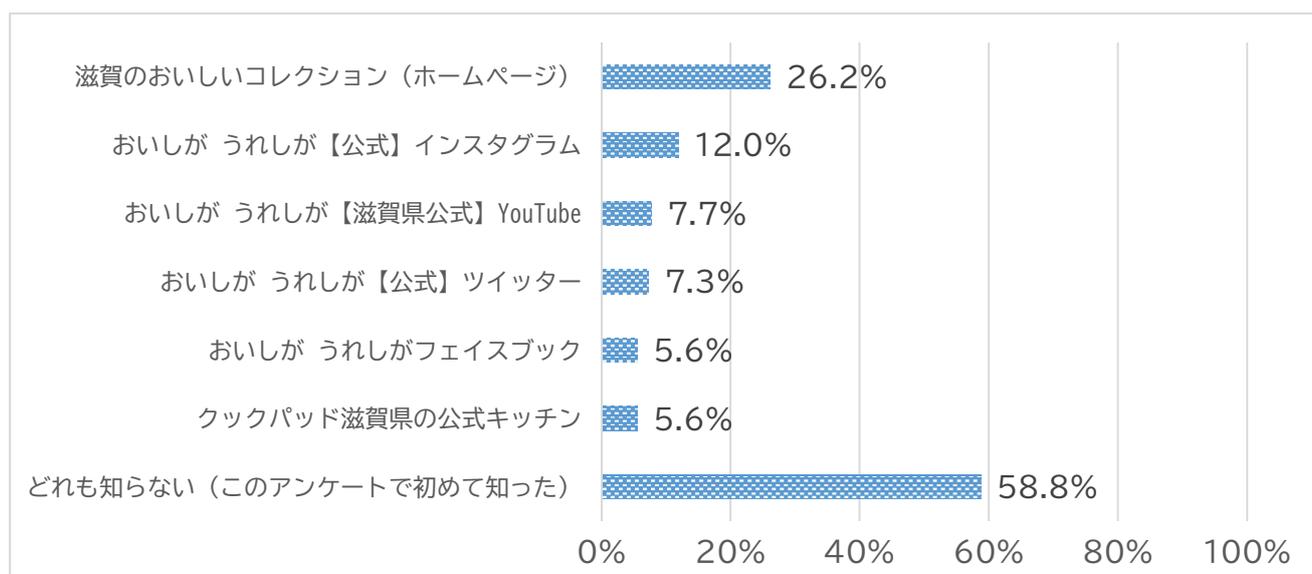
問9. コロナ禍において、食料品の購入方法に変化はありましたか。当てはまるものすべてにチェックしてください。(回答チェックはいくつでも n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
(生協などの)宅配事業を活用する事が増えた	41	17.6
スーパーで購入することが増えた	37	15.9
ネット通販を活用する事が増えた	28	12.0
直売所で購入することが増えた	27	11.6
特に変わらない	137	58.8



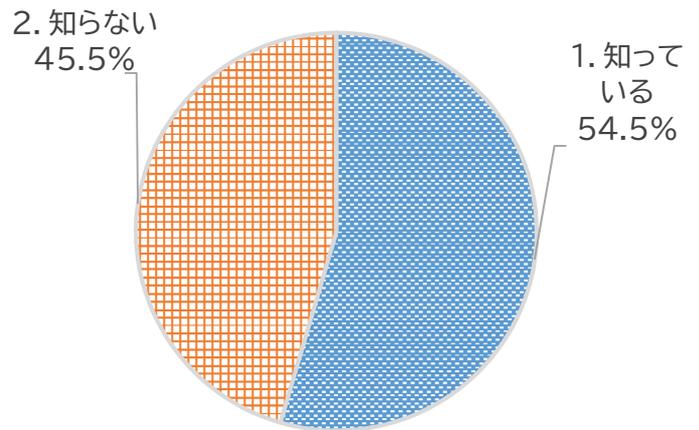
問 10. 県の食の情報発信媒体について知っているものすべてにチェックしてください。(回答チェックはいくつでも n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀のおいしいコレクション(ホームページ)	61	26.2
おいしが うれしが【公式】Instagram	28	12.0
おいしが うれしが【滋賀県公式】YouTube	18	7.7
おいしが うれしが【公式】Twitter	17	7.3
おいしが うれしがフェイスブック	13	5.6
クックパッド滋賀県の公式キッチン	13	5.6
どれも知らない(このアンケートで初めて知った)	137	58.8



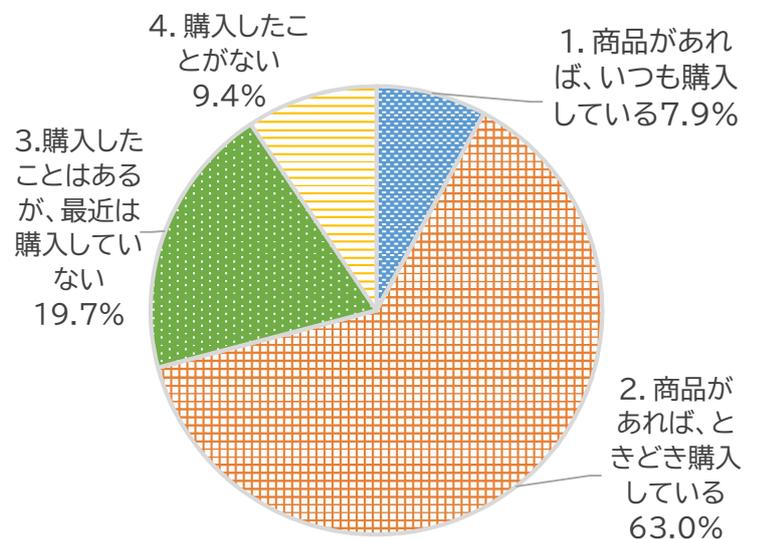
問11. あなたは、「環境こだわり農産物」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	127	54.5
2. 知らない	106	45.5
合計	233	100.0



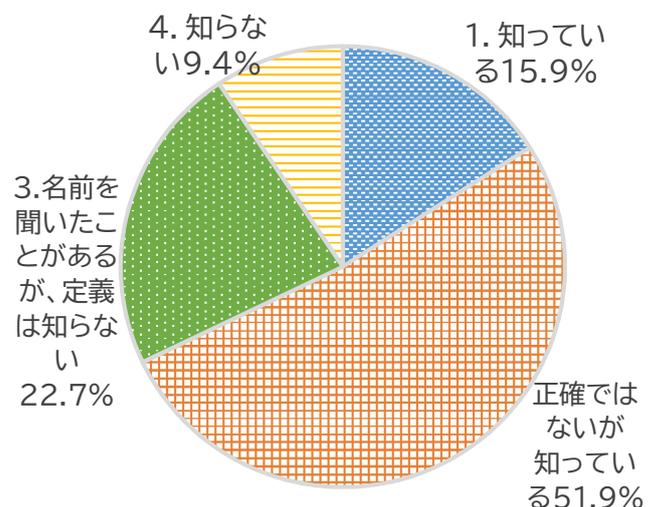
問12. あなたは普段、「環境こだわり農産物」を購入していますか。(回答チェックは1つだけ n=127)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	10	7.9
2. 商品があれば、ときどき購入している	80	63.0
3. 購入したことはあるが、最近購入していない	25	19.7
4. 購入したことがない	12	9.4
合計	127	100.0



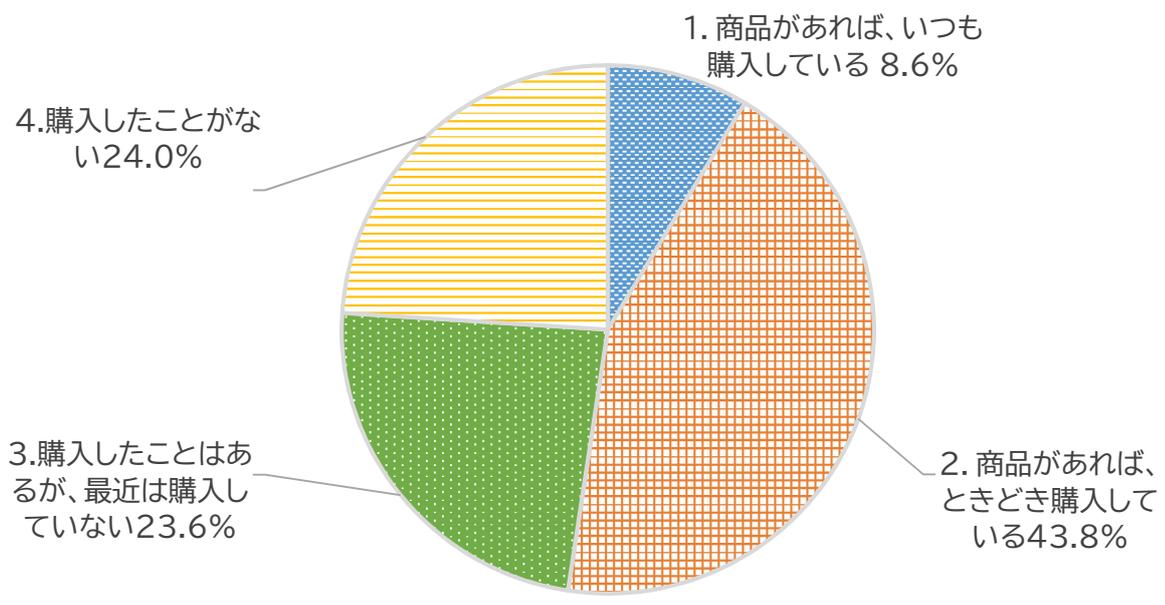
問 13. あなたは、「オーガニック(有機)農産物」の定義を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	37	15.9
2. 正確ではないが知っている	121	51.9
3. 名前を聞いたことがあるが、定義は知らない	53	22.7
4. 知らない	22	9.4
合計	233	100.0



問 14. あなたは普段、「オーガニック(有機)農産物」を購入していますか。(回答チェックは1つまで  
n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1.商品があれば、いつも購入している	20	8.6
2.商品があれば、ときどき購入している	102	43.8
3.購入したことはあるが、最近では購入していない	55	23.6
4.購入したことがない	56	24.0
合計	233	100.0



問 15. その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」、「オーガニック(有機)農産物」について御意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

◆「おいしが うれしが」キャンペーンについて

- おいしがうれしがを知らなかったので今後は、興味を持って行きたい。(50 歳代)
- おいしがうれしがの YouTube チャンネルがあることが知らなかったので見てみようと思いました(10,20 歳代)
- おいしが うれしが、については良く見聞きするが、言葉だけで、内容についてはよく知らないので、今後は売り場的意識して見ていきたいと思います。(50 歳代)
- おいしがうれしがのロゴ、アップデートしませんか??若手デザイナーや、若年層から公募してみても?学校にも投げ掛けて、デザイナーが、手直してロゴ作るイベントでもいいかも。おいしがうれしがロゴは、わかりやすいですが、人にあげるにはチープ感が…。もしくはロゴはイメージに負けないくらい、ブランド力をあげるか…。まだ、おいしがうれしが製品をあげて、スゴく喜んでくれる人の顔は思い浮かびません…。(40 歳代)
- おいしがうれしがのマークのついた食品をよく買います。と言っても、いつもあるわけでは無く残念です。今まで買って来たものには、ハズレと思うものはありません。新鮮で品質も良く、見つけた時は必ず買います。もっと、あちこちの店に並んでいて欲しいです。(50 歳代)
- 「おいしがうれしが」キャンペーン地産地消を目指したとても良い取り組みだと思えますが、それだけでは滋賀の農業の発展は臨めないと思います。肥沃で広大な農地を有する今後の滋賀の農業は大都市圏への特産品の出荷に軸足を置いて大規模営農化を図るべきだと思います。そのためには県が中心となって、もっともっと首都圏や京阪神の消費者に対して、様々な広告媒体で滋賀の農産品の良さをアピールしていただきたいと思います。(60 歳代)
- スーパー以外にも、滋賀の飲食店で滋賀の食品を使った料理を提供してるお店にも、メニュー表やのぼり棒やステッカーなどで、取り組みに参加してるアピールをした方がいいと思う。(10,20 歳代)
- 「おいしがうれしが」の曲をときどき耳にします。子どもが小学校でも流れていたと教えてくれました。耳に残るいいメロディーだと思うので、歌から広めていくといいと思います(30 歳代)

◆「環境こだわり農産物」について

- 滋賀県では、多方面で「こだわり」の言葉を多用されているため、何に「こだわり」を主張されているのか、わかりにくい。(70 歳以上)
- 少し前に新聞で知ったのですが、環境こだわり農産物の認定基準が厳しくなって、認定品の数が減ったということでした。最近はどうようになったのでしょうか? 年次の変化が分かるようなところがあれば教えてほしい。(70 歳以上)
- 環境に配慮したものは価格が高い。なぜその値段なのか、商品として完成するまでの説明があれば、買う消費者は必ず増えると思う。買うことで農家を応援できる。また環境に優しい農業が継続される。このサイクルを続けることが大事だと思う。(30 歳代)

#### ◆オーガニック(有機)農産物について

- 残留農薬、ネオニコ系は特に神経系への影響も気になるのでなるべく無農薬を選んでいきます。子どもの給食に積極的に使ってほしいですし、市場でも滋賀県さんのオーガニック野菜が普及してほしいです。(30 歳代)
- 食材は基本的にオーガニックなものを選んでいきます。完全無農薬は難しくても最低限におさえたいものを探します。一般的なスーパーではなかなか置いてないので、生活クラブという安全にこだわりのある生協で購入がほとんどです。滋賀県全体でなるべく安全な農業に取り組んでもらえると嬉しいです！地産地消も大事にしたいです(40 歳代)
- 我が家も家庭で使用する 7 割ぐらいはオーガニックの野菜を作っています。滋賀県といえばオーガニックといわれるぐらい農家さんがこだわって作ってほしい。学校給食にも県をあげてオーガニック農産物を使用するようすすめてほしい。(40 歳代)
- 有機農業や無農薬農業を好む人は大勢いると思うが、現行農業(つまり化学肥料や農薬を使う農業)へのネガティブキャンペーンにならないように注意していただきたい。両者は共存できるし、どちらにも違う価値があると思います。(30 歳代)

#### ◆共通・その他

- 食の安心安全は人々の健康生活に欠かせないものです。環境こだわり農産物やオーガニック農産物等の有り難さが身に沁みています。(70 歳以上)
- 地元の生産者応援のため農産物・湖魚・醤油などはなるべく滋賀県産を選ぶようにしている。フレンドマートやマックスバリュなど行きつけのスーパーでは地場産直品のコーナーがあって滋賀産の製品が入手しやすく便利に感じている。環境こだわり農産物は出回っている種類が少ないので、今後もっと購入しやすくなればと思う。県庁近くの JA で農産物の直売をするなどすれば地場農産物を購入する人が増えるのではないかと思う。(50 歳代)
- 近くのスーパー等で常時販売していないものが多い。安心安全な商品であり、それほど他のものと比べても高価でもないため、あれば購入するようにしている。(60 歳代)
- 「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」、「オーガニック農産物」など、もっとびわ湖放送や NHK ローカルニュースで、PRしていったら県民の認知度を上げていける。(60 歳代)
- 農産物の置いてあるスーパーの売り場が少ないように思います。もっと目立つ売り方でできると良いと思います。(60 歳代)
- どの農産物でもやや価格が少し高いので手かでないので、この点何とかならないのかと感じます。(70 歳以上)
- 農産物については、買いに行っても売り切れてる時があるのもっと量も増やしてほしいです。(50 歳代)
- 食育の観点からもだし健康のために率先して県からも推奨すべきかと思っています。(50 歳代)

- こだわり農産物、オーガニック農産物を探して購入するのではなく地産地消の購入を心がけている。近くのスーパーでは地元産を販売するスペースがあり、少しでも地元農家さんの物と購入しています。規格外農産物もどんどん出して欲しいです。(70 歳以上)
- 近江 630 の番組で滋賀県特産の野菜をよく紹介していますが、なかなかスーパーなどでは、目にする機会がないです。もっと今が旬です！とかのポップやのぼり等でわかりやすく、調理方法も紹介して販売して貰えると、県民も親近感を持ち購入したくなるのではと思います。(50 歳代)
- このアンケートを答える中で、滋賀にはおいしい物が沢山ある事をしりました。また、環境にも沢山配慮していることも知ったのですが、人は感情で動くので、農薬がとか、育成状況がとか、手間暇かけているとか、そういう事をアピールしてもあまり美味しい物をアピールしている事にはならないと思います。もっと、おいしそう写真やレシピや食べてる動画がもっとあったらいいなと思いました。(40 歳代)
- いろいろな取り組みに感謝すると共に滋賀県で生活できている事に安心を持っている。ありがとう(60 歳代)